

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		令和4年度	令和3年度	令和2年度
収 入	指定管理料			
	利用料金収入	11,933	4,606	3,134
	事業収入			
	その他		27	235
	計	11,933	4,633	3,369
支 出	人件費	1,307	1,272	1,713
	管理運営費	3,392	2,748	4,695
	納付金	4,798	2,881	2,037
	その他			
	計	9,497	6,901	8,445
収支		2,436	▲ 2,268	▲ 5,076

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・所長をはじめとして全業務員が相互に用務を補うことで効率的な経営を行っている。 ・場内の清掃業務を直営で行うことにより、経費削減に努めている。
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金を1時間無料とし、とくとくターミナル利用のお客様及び送迎による高速バス利用のお客様の利便性を図っている。 ・最初の24時間駐車料金の上限を600円から500円に改定を行うとともに入車を24時間可能としている。また、障がい者を対象とした最初の24時間分を無料とする減額制度を導入している。(令和元年7月より)

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	とくとくターミナル利用のお客様の利便性を図るため、駐車料金を1時間無料としている。
----------	---

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	利用者ニーズを反映し、電子マネー等による支払い可能な料金精算機の導入・拡充をはじめ、時間及び料金等の改定対応に取り組んでいる。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	とくとくターミナル利用のお客様の利便性を図るため、駐車料金を1時間無料としている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	業務計画書に基づき、モニター監視及び週3回駐車場を巡視するなど、施設の適正な維持管理が実施されている。また、直営及び必要な資格を有する委託先を活用し、年間設備点検作業一覧表に基づき、施設の適正な維持管理が実施されている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	新型コロナウイルスの影響による駐車台数の減少により非常に厳しい状況であるが、管理運営費等のコスト削減に努めるなど、収支の改善に取り組んでいる。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	業務計画書に基づき、職員の配置やサービスマニュアルによる職場内研修が実施されている。セルフモニタリングについては、毎月実施されており、結果は月次報告書とともに報告されている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	職員の労働条件について、事業計画書に記載した内容どおり確保されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	地元の雇用に優先したり、有資格者を必要とする保守点検業務は、県内に委託先がない場合を除き、原則として、県内の地元企業に委託している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	利用者サービス向上や地元雇用に努めている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	「安全・危機管理マニュアル」を作成し、緊急時・災害時の連絡体制を整えている。また、施設管理者賠償責任保険及び動産総合保険に加入している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	場内の清掃や植栽の適切な剪定・消毒を行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	個人情報保護要綱を制定し、情報管理について職員に周知している。また、情報公開要綱を制定し、情報公開に努めている。
総合評価	A	低料金設定の周辺民間駐車場の増加など厳しい状況の中、効率的な管理運営と良好な利用者サービスが行われている。 管理運営については、概ね協定書の内容どおり良好に実施されている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

新型コロナウイルス感染症の影響により、高速バスの減便等で駐車台数は大幅に減少していたが、コロナ前の水準近くに回復の兆しが見られる。今後は、引き続き施設の維持管理費について経費削減に努めるとともに、とくとくターミナル物産館等と連携し、とくとくターミナル利用者及び送迎による高速バス利用者への駐車料金を1時間無料とする等の利用促進策や新たなサービス向上策としてカーシェアリングの実装事業を実施する。